

日 程 表

1日目（12月6日 土曜日）

	第一会場	第二会場	第三会場	ポスター会場
9:00				
9:30	受付			
9:55 10:00	開会の辞 会長講演 介護予防の『しんか』 — 進化・深化・真価・新価から捉える未来像 — 演者：山田 実 座長：高山 優子			ポスター設置
10:30		エキスパートセミナー1 「フレイル」に対する老年療法の『しんか』 演者：牧迫 飛雄馬 座長：石橋 裕		
11:00	ジョイントシンポジウム (認知症予防学会) 認知症の『しんか』 演者：浦上 克哉、児玉 直樹、 横山 和樹、田平 隆行 座長：浦上 克哉、島田 裕之	特別企画1 老年療法学領域の論文執筆法を どのように学ぶか 演者：樋口 貴広 座長：片山 倭	セレクション演題 研究報告部門 座長：宮田 一弘 丸田 道雄	一般演題 ポスター P1 座長：國枝 洋太 P9 座長：澤 龍一
12:00		ランチョンセミナー 加速度計を用いた歩行分析における Harmonic Ratioの意義・有用性 演者：土井 剛彦 座長：山田 実 共催：株式会社ホーマーイオン研究所		
13:00	研究成果報告 国立長寿医療研究センター 片山 倭	エキスパートセミナー2 「低栄養」に対する老年療法の『しんか』 演者：井上 達朗 座長：永見 慎輔	セレクション演題 症例・実践報告部門 座長：森 優太 大森 史隆	一般演題 ポスター P2 座長：與 祥子 P10 座長：室井 大佑
13:30		研究成果報告 鹿児島大学 牧迫 飛雄馬		
14:00	特別講演 医療従事者が有しておきべき 『法的思考』 演者：野村 修也 座長：山田 実			
15:00	ジョイントシンポジウム (日本予防理学療法学会) 転倒・骨折の『しんか』 演者：永井 宏達、坪内 優太、 筈 智裕、鈴木 瑞恵 座長：久米 裕、小山 真吾	エキスパートセミナー3 「コミュニケーション障害」に対する老年療法の『しんか』 演者：中村 光 座長：池田 望	一般演題 口述 O1 座長：大久保 正彦 小玉 鮎人	一般演題 ポスター P3 座長：金子 純一郎 P11 座長：板垣 篤典
15:30		特別企画2 老年療法学と身体的・物語的自己の接点 演者：森岡 周 座長：土井 剛彦		
16:00			一般演題 口述 O2 座長：佐賀里 昭 河野 裕治	一般演題 ポスター P4 座長：立石 麻奈 P12 座長：石井 秀明
16:30	スポンサードセミナー Asian Working Group for Sarcopenia 2025は 何がどう変わったか？ 演者：荒井 秀典 座長：山田 実 共催：アボットジャパン合同会社			
17:00		教育委員会企画 アフターセッション 座長：石垣 智也 清水 夏生		
17:30				
18:00				
19:30				

日 程 表

2日目（12月7日 日曜日）

	第一会場	第二会場	第三会場	ポスター会場	場外
8:00					
9:15	受付				みのる散歩
9:30		エキスパートセミナー5 「循環器疾患」に対する老年療法の『しんか』 演者：神谷 健太郎 座長：本田 寛人	一般演題 口述 O3 座長：田村 俊太郎 宮田 恵里		
10:00	シンポジウム1 脳卒中の『しんか』 演者：野添 匡史、東 泰弘、近藤 郁江 座長：久保 宏紀、木村 鷹介	エキスパートセミナー6 「慢性腎臓病」に対する老年療法の『しんか』 演者：松沢 良太 座長：音部 雄平			
10:30		特別企画3 老年療法学研究のセンスとテクニックの融合 演者：紙谷司 座長：清水夏生			
11:00	寄付セミナー デジタル書字データを活用したフレイル可視化の可能性 演者：山田 実 座長：鈴木 瑞恵 共催：株式会社ワコム		一般演題 口述 O4 座長：三栖 翔吾 落合 勇人	一般演題 ポスター P5 座長：桑江 豊 P13 座長：栄元 一記	
11:30		ランチョンセミナー 低酸素トレーニングの生理学的基盤と 臨床応用の可能性 演者：齊藤 正和 座長：島田 裕之 共催：インターリハ株式会社			
12:30		エキスパートセミナー7 「がん」に対する老年療法の『しんか』 演者：井平 光 座長：立松 典篤	一般演題 口述 O5 座長：富田 義人 那須 譲徳	一般演題 ポスター P6 座長：北垣 和史 P14 座長：村田 裕康	
13:00	シンポジウム2 活動の『しんか』 演者：石垣 智也、下木原 俊、萩野 未沙 座長：金居 肇之、上村 一貴	エキスパートセミナー8 「摂食嚥下障害」に対する老年療法の『しんか』 演者：福岡 達之 座長：小川 真人			
13:30		研究成果報告 東京都立大学 深田 和浩	一般演題 口述 O6 座長：太田 智裕 小谷 優平	一般演題 ポスター P7 座長：吉松 竜貴 P15 座長：平瀬 達哉	
14:00		寄付セミナー 健康寿命を目的とした高齢者に対する 運動推奨の意義の再考： ICFSRコンセンサス論文を受けて 演者：島田 裕之 座長：金子 文成 共催：第一生命保険株式会社			
14:30	市民公開講座 フレイル対策で彩るこれから的人生 －運動、食事、社会参加の大切さ－ 演者：山田 実 座長：小山 真吾 共催：森永乳業クリニコ株式会社	特別企画4 裁判例から学ぶ老年療法の実践現場の運営の心構え 演者：松岡 太一郎 座長：横井 賀津志	一般演題 口述 O7 座長：岡部 拓大 児玉 成博	一般演題 ポスター P8 座長：加藤 刚平 P16 座長：武田 賢和	
15:00		エキスパートセミナー4 「高次脳機能障害」に対する老年療法の『しんか』（自動車運転） -自動車運転評価・支援の価値を問い合わせる- 演者：外川 佑 座長：尾川 達也			
15:30				ポスター撤去	
16:00	閉会の辞				
16:30					

参加者へのご案内

1. 参加証(ネームプレート)

- Payvent から出力したネームプレートを必ずご持参ください。Payvent Hub の参加者ログインからマイページに入り、ネームプレートの PDF をダウンロードすることができます。
(https://payvent.net/guide_tag/payvent-hub/)
- ネームホルダーはご用意いたします。

2. 参加受付

受付場所：一橋講堂 1 階 エントランスロビー

受付時間：2025 年 12 月 6 日（土）9:30～18:00

2025 年 12 月 7 日（日）9:15～17:00

参加費：

参加者区分	参加費	税区分
学会会員（早期申込料金*）	9,000 円	不課税
学会会員	10,000 円	不課税
非会員	15,000 円	消費税 10%課税対象
会員オンライン参加(後日オンデマンドのみ)**	5,000 円	不課税
非会員オンライン参加(後日オンデマンドのみ)**	10,000 円	消費税 10%課税対象
学生（大学院生除く）※現地参加のみ	1,000 円	消費税 10%課税対象

*学会会員で早期申込期間に申込された方のみ、早期申込料金が適用されます。

(早期申込期間：2025 年 10 月 9 日まで)

**リアルタイムでの配信はございませんのでご了承ください。

- 非会員の場合、申し込み時に学会員になれば会員価格で参加が可能です。
- 学生価格は現地参加のみです。現地参加時に学生証をご提示ください。
- 本学術集会の参加登録は大会ホームページから Payvent を利用した Web 参加登録のみです。当日参加される場合も Web から参加登録をしていただきます。現金での参加登録は行いません。ご注意ください。

参加受付方法：

- 参加受付でお名前（フルネーム）をお伝えください。

3. オンデマンド配信について

視聴期間：2025 年 12 月 22 日（月）～2026 年 1 月 31 日（土）

- 視聴方法等は後日ご案内いたします。
- 本オンデマンド配信には、一般演題の内容は含まれておりません。あらかじめご了承くださいますようお願い申し上げます。

4. 大会長企画（みのる散歩）について

開催日時：2025年12月7日(日) 8:00～ (時間は約1時間程度 雨天中止)

集合時間：同日 7:50

集合場所：一橋講堂 入り口前

参加費：無料(どなたでもご参加いただけます。)

- 雨天が予想される場合は、当日(12/7)の午前7時までに大会事務局より参加者の皆様へ一斉メールにてご連絡いたします。

- スーツケースなどのお荷物はお預かり可能です。どうぞお荷物をお持ちのうえでお越しください。

5. 単位取得について

※単位付与は、会場参加の方にのみ付与されます。

オンデマンド配信のみご参加の方には付与されませんので、ご注意ください。

【日本作業療法士協会会員の方】

- 日本作業療法士協会生涯教育制度基礎ポイントが取得できます。必要書類(参加証(領収証)、抄録集等)を添付し、自身での申請をお願いします。詳しくは、日本作業療法士協会ホームページをご参照ください。(URL: https://www.jaot.or.jp/continuing_education/)

【健康運動指導士及び健康運動実践指導者の方】

- この第4回日本老年療法学会学術集会(本集会)は、健康運動指導士及び健康運動実践指導者の登録更新に必要な履修単位として講義3.0単位が認められます。(認定番号: 256228)
- 当日受付にて“健康運動指導士証および健康運動実践指導者証”をご提示いただくことで、参加証および登録更新に係る認定講習会受講証明書をその場でお渡しいたします。

6. クローク

場所：一橋講堂1階 エントランスロビー(参加受付向かって左にございます。)

時間：2025年12月6日(土) 9:30～懇親会終了時まで

2025年12月7日(日) 9:15～17:00

※会場のスペースに限りがあるため、お預かりできる荷物の数には制限がございます。状況によってはお預かりをお断りする場合がございますので、何卒ご理解・ご協力をお願いいたします。

※傘、貴重品およびPCのお預かりはできません。

※預けたお荷物は必ず、ご利用日当日中にお引き取りください。

7. 企業展示

場所：一橋講堂2階 ロビー

時間：2025年12月6日(土) 9:30～18:30

2025年12月7日(日) 9:15～17:30

8. お車での来場について

- 本学術集会では、駐車場を用意しておりません。公共交通機関の利用をお願いいたします。

9. 服装について

- 本学術集会では、原則として服装の規定はございませんので、ビジネススーツなどのフォーマルな服装である必要はございません。

10. 昼食について

ランチョンセミナー

- 本ランチョンセミナーは 会場前にお並びいただいた方から順にご案内いたします（先着順・無料、お弁当の数には限りがございます）。

その他

- 昼食は近隣の飲食店、コンビニエンスストアをご利用ください。
- 第1会場以外の会場は、下記日時でお持ち込みによる昼食会場としてご利用いただけます。匂いの強いもの、汁の出るものなどはご遠慮ください。ロビー、廊下は飲み物のみ可能です。

2025年12月6日（土）11:55～12:55

2025年12月7日（日）11:30～12:30

- なお、ゴミの持ち帰り・片付けにご協力をお願いいたします。

11. 注意事項

- 会期中は、原則として電話のお取り次ぎ、会場内でのお呼出放送は行いません。
- 会場内では携帯電話はマナーモードに設定し、その他音の出る電子機器類のご使用はお控えください。また、ポスター会場および講演会場での写真撮影・収録・録音はご遠慮ください。
- Web 視聴ページ内の写真、スライド、映像、音声の著作権は、著作者、団体に帰属します。画面の録画、静止画記録、録音での保存や転載は固く禁止いたします。ご協力いただきますよう お願いいいたします。

演者・座長へのお知らせとお願ひ

1. 発表時間

セッション名	発表時間	質疑応答
セレクション演題発表	10 分	4 分
口述発表 ポスター発表	7 分	2 分
上記以外のセッション	個別のご案内をしております	

※時間厳守のご協力をお願いいたします。

※発表はいずれも現地でのご発表となります。オンデマンド配信はございません。

2. 座長のみなさまへ

- 座長受付はございませんので、セッション開始時刻の 10 分前までにセレクション・口述発表の座長の方は講演会場内「次座長席」へ、ポスター発表の座長の方はポスター会場内へお越しください。
- セッション開始時刻になりましたらご登壇いただき、セッションを開始してください。
- 時間内で終了するようにご協力をお願いいたします。
- ポスター発表にタイムキーパースタッフはおりません。セッション全体の時間は比較的余裕がございますが、1発表につき 10 分（発表 7 分、質疑 2 分、移動など 1 分）を目安に進行をお願いいたします。

3. セレクション・口述発表 演者のみなさまへ

(1) スライドについて

- 発表データは Microsoft PowerPoint での発表となります。
- 画面比率は 16:9、4:3 のどちらでも対応可能です。
- 発表データのファイル名を「セッション名-演題番号_演者名」としてください（例： 01-01_東京太郎）。
- フォントは文字化け、レイアウト崩れを防ぐため下記フォントを推奨いたします。
【日本語】 MS ゴシック・MSP ゴシック・MS 明朝・游明朝・メイリオ
【英語】 Times New Roman・Arial・Arial Black・Arial Narrow・Century・Century Gothic・Courier・New・Georgia

(2) PC 受付について

- 受付は発表セッション開始 30 分前までにお済ませください。
- 発表データは、USB フラッシュメモリにてご持参ください。Mac ご利用の方、動画が含まれる方は PC をお持ち込みください。変換コネクタもご持参ください。
- PC 受付のパソコンは台数が限られています。受付パソコンを独占しての長時間データ修正はご遠慮ください。学会場ではレイアウト修正のみとし、データ修正等は事前に済ませてから PC 受付へお越しください。

※PCを持ち込まれる方へ

- PC本体を持ち込まれる場合でも、必ずPC受付で試写確認を行ってください。
- 会場でご準備いたしておりますPCケーブルコネクター形状はHDMIです。（図参照）PC本体にHDMI出力ポートがなければ、お持ちのPC専用HDMI変換コネクターをお持ちください。電源ケーブルもお忘れなくお持ちください。
- 再起動をすることがありますので、パスワード入力は“不要”に設定してください。
- スクリーンセーバーならびに省電力設定は事前に解除しておいてください。
- 不測の事態に備え、データのバックアップをUSBメモリでご用意いただき、作成したPC以外で必ず事前に動作確認してください。
- プロジェクターへの接続は会場内のPCオペレーター席にて技術者が行います。
- 発表は、演題のモニターで確認しながらご自身で進めてください。
- お預かりしたPC本体は、発表終了後会場内のオペレーター席（スクリーンに向かって左側最前列）にて返却いたしますので、速やかにお受け取りください。



(3) 発表について

- ご発表の10分前までに発表会場の「次演者席」にご着席ください。
- 座長の指示のもと、発表を行ってください。
- 発表スライドの操作はご自身でお願いいたします。また、発表者ツールはご使用できませんのでご了承ください。
- データは会期終了後、事務局にて責任を持って削除いたします。

4. ポスター発表 演者のみなさまへ

(1) ポスター貼付と発表、撤去の時間について

- 下記の時間内にポスター貼付と撤去を行ってください。張り替えはございません。

貼付	12月6日（土） 9：30～10：55
撤去	12月7日（日） 15：30～16：00

(2) ポスターについて

- ポスターパネルのサイズは幅 90 cm × 高さ 210 cm (予定) でご用意いたします。
- 演題番号 (縦 20cm × 横 20cm) : 事務局にて用意し、左上に掲示いたします。
- ポスターは研究の目的、方法、結果、結論等が明確にわかるように作成してください。
- 提示時間が終了しましたら、ポスターは各自撤去してください。
- 撤去時間内に撤去されなかったポスターは事務局にて処分しますのでご了承ください。

(3) 発表について

- 印刷されたポスターを用いて発表してください。
- 予定時刻の 10 分前には会場にお越しください。



5. 利益相反 (COI) に関する情報開示について

- 発表時に共同演者も含めて利益相反状態についての情報開示をお願いいたします。

(1) セレクション・口述発表

- 下記を参考に、スライドの最初に利益相反自己申告に関するスライドを加えてください。

(COI 関係にある企業等がない場合)

COI開示 筆頭発表者名：東京 太郎 所属機関名：● ● ● ● ● ● 演題発表に関連し、開示すべき COI関係にある企業等はありません

(COI 関係にある企業等がある場合)

COI開示 筆頭発表者名：東京 太郎 所属機関名：● ● ● ● ● ● ● ①顧問： あり (●●製薬) ②株保有・利益： なし ③特許使用料： なし ④講演料： なし ⑤原稿料： なし ⑥委託研究・共同研究費：あり (●●製薬) ⑦奨学寄付金： あり (●●製薬) ⑧寄附講座所属： あり (●●製薬) ⑨贈答品などの報酬： なし

(2) ポスター発表

- 利益相反自己申告に関する記載を、ご作成のポスターに含んでください。

プログラム 12月6日（土曜日）

第1会場

10:00-10:25 会長講演

介護予防の“しんか” — 進化・深化・真価・新価から捉える未来像 —

山田 実 筑波大学 人間系 教授

座長：高山 優子（名古屋市立大学医学部附属リハビリテーション病院 リハビリテーション技術科 主査）

10:30-11:55 ジョイントシンポジウム（認知症予防学会） 認知症の『しんか』

日本認知症予防学会の取り組みと日本老年療法学会との合同企画への期待

浦上 克哉 鳥取大学 医学部 認知症予防学講座 教授

認知症の二次予防と認知症予防専門士の役割

児玉 直樹 新潟医療福祉大学 医療技術学部 診療放射線学科 教授

認知症の行動・心理症状（BPSD）の理解と介入

横山 和樹 北海道公立大学法人 札幌医科大学 保健医療学部 作業療法学第二講座 講師

生活障害の具体化と訪問／遠隔介入の実際

田平 隆行 鹿児島大学 医学部 保健学科 作業療法学専攻 教授

座長：島田 裕之（国立長寿医療研究センター 研究所 老年学・社会科学研究センター センター長）

浦上 克哉（鳥取大学 医学部 認知症予防学講座 教授）

13:00-14:00 研究成果報告・研究プロジェクト紹介

片山 岳 国立長寿医療研究センター

14:00-14:55 特別講演

医療従事者が有しておくべき『法的思考』

野村 修也 中央大学 法科大学院 教授 弁護士

座長：山田 実（筑波大学 人間系 教授）

15:00-16:25 ジョイントシンポジウム（日本予防理学療法学会） 転倒・骨折の『しんか』

リハビリテーション専門職が担う 転倒・骨折予防の「しんか」

永井 宏達 兵庫医科大学 リハビリテーション学部 教授

骨折者に対する理学療法

坪内 優太 大分県立看護科学大学 人間科学講座 生体科学研究室 助教

骨折の作業療法

筧 智裕 国際医療福祉大学 成田保健医療学部 作業療法学科 講師

骨折者に対する言語聴覚療法

鈴木 瑞恵 北海道医療大学 リハビリテーション科学部 言語聴覚療法学科 准教授

座長：久米 裕（秋田大学 作業療法学講座 教授）

小山 真吾（筑波技術大学 保健科学部 保健学科 助教）

16:30-17:25 スポンサー・セミナー 共催：アボットジャパン合同会社

Asian Working Group for Sarcopenia 2025 は何がどう変わったか？

荒井 秀典 国立長寿医療研究センター 理事長

座長：山田 実（筑波大学 人間系 教授）

第2会場

10:30-11:00 エキスパートセミナー1

「フレイル」に対する老年療法の『しんか』

牧迫 飛雄馬 鹿児島大学 医学部 保健学科 教授

座長：石橋 裕（東京都立大学大学院 人間健康科学研究科 准教授）

11:00-11:30 特別企画1

老年療法学領域の論文執筆法をどのように学ぶか

樋口 貴広 東京都立大学 人間健康科学研究科 教授

座長：片山 優（国立長寿医療研究センター 予防老年学研究部 特任主任研究員）

12:00-12:55 ランチョンセミナー 共催：株式会社ホーマーイオン研究所

加速度計を用いた歩行分析における Harmonic Ratio の意義・有用性

土井剛彦 国立長寿医療研究センター 研究所 老年学・社会科学研究センター

予防老年学研究部 予防老年学研究副部長

座長：山田 実（筑波大学 人間系 教授）

13:00-13:30 エキスパートセミナー2

「低栄養」に対する老年療法の『しんか』

井上 達朗 新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 理学療法学科 准教授

座長：永見 慎輔（北海道医療大学 リハビリテーション科学部 言語聴覚療法学科 准教授）

13:30-13:50 研究成果報告・研究プロジェクト紹介

牧迫 飛雄馬 鹿児島大学

15:00-15:30 エキスパートセミナー3

「コミュニケーション障害」に対する老年療法の『しんか』

中村 光 岡山県立大学 保健福祉学部 現代福祉学科 教授

座長： 池田 望（札幌医科大学 保健医療学部 作業療法学科 教授）

15:30-16:00 特別企画2

老年療法学と身体的・物語的自己の接点

森岡 周 畿央大学 ニューロリハビリテーション研究センター センター長・教授

座長： 土井 剛彦（国立長寿医療研究センター 研究所 老年学・社会科学研究センター 予防老年学研究部 副部長）

17:00-18:00 アフターセッション

座長： 清水 夏生（埼玉医科大学 保健医療学部 理学療法学科 助教）

石垣 智也（畿央大学 健康科学部 理学療法学科 准教授）

第3会場

10:30-11:55 セレクション演題：研究報告部門

座長： 宮田 一弘（茨城県立医療大学 保健医療学部 理学療法学科 助教）

丸田 道雄（長崎大学生命医科学域（保健学系） 准教授）

S1-01 要介護ハイリスク高齢者への多因子介入の実態とその効果に関するスコーピングレビュー

小泉 尚弘¹, 音部 雄平¹

1.大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究科

S1-02 質的比較分析（QCA）による転倒発生条件の抽出の一簡便なスクリーニング手法の提案—

滝本 幸治¹, 竹林 秀晃², 近藤 寛², 笹野 弘美¹, 池田 耕二¹

1.奈良学園大学保健医療学部, 2.高知健康科学大学健康科学部

S1-03 地域在住高齢者におけるフレイルの認知度と健康行動の関連性

大東 千夏¹, 福永 利奈¹, 村崎 つむぎ¹, 吉田 真菜¹, 吉本 真輝¹, 畑山 浩志², 坂口 雄哉³, 上村 一貴⁴, 永井 宏達¹

1.兵庫医科大学 リハビリテーション学部 理学療法学科, 2.洲本市役所 健康福祉部介護福祉課, 3.兵庫医科大学 リハビリテーション学部 作業療法学科, 4.大阪公立大学 医学部リハビリテーション学科

S1-04 軽症脳卒中患者におけるサルコペニア重症度が発症3か月後の日常生活活動の自立度および困難度に与える影響

石山 大介¹, 高畠 幸弘¹, 青木 淳哉², 片野 雄大², 坂本 悠記², 下山 隆², 須田 智², 青柳 陽一郎¹

1.日本医科大学付属病院 リハビリテーション科, 2.日本医科大学付属病院 脳神経内科

S1-05 自動車運転の有無と自宅周辺の歩行環境が地域在住高齢者の身体活動量に与える影響

相馬 夏月¹, 原田 健次¹, 森川 将徳^{1・2}, 西島 千陽¹, 藤井 一弥¹, 垣田 大輔¹, 奥谷 卓音¹, 山城 由華吏³, 高柳 直人³, 須藤 元喜³, 島田 裕之¹

1. 国立長寿医療研究センター 予防老年学研究部, 2. 日本学術振興会 特別研究員, 3. 花王株式会社

S1-06 高齢同種造血幹細胞移植患者における移植前心身機能の特徴および予後因子の解析

市川 雄大¹, 小林 詩歩¹, 新井 貴大¹, 鈴木 奈加子¹, 三枝 英治¹, 高木 伸介², 内田 直之², 中道 健一¹

1. 国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 リハビリテーション部, 2. 国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 血液内科

13:00-13:55 セレクション演題：症例・実践報告部門

座長： 森 優太（花の丘病院 リハビリテーション科 係長）

大森 史隆（福岡歯科大学医科歯科総合病院 摂食嚥下・言語センター 副センター長）

S2-01 環境設定などの工夫で病前と同等の動作レベルにて在宅復帰した保存療法適応の両側脆弱性骨盤輪骨折患者

三宅 靖人^{1・2}, 田中 誠也², 松下 健³

1. かぐやま整形外科痛みと運動のクリニック リハビリテーション科, 2. 国立長寿医療研究センター 先端医療開発推進センター, 3. 医療法人大輪会 大橋・谷整形外科 リハビリテーション科

S2-02 作業療法士が関与した地域共創型移動支援サービスの立ち上げと発展：農村地域における実践報告

小渕 浩平^{1・2}, 務台 均³, 伊藤 由花⁴, 本間 千恵子⁵, 町田 豊⁶, 小林 武雅¹, 瀧澤 勉⁷

1. JA長野厚生連長野松代総合病院 リハビリテーション部, 2. 信州大学大学院 総合医理工学研究科 医学系専攻 博士課程, 3. 信州大学大学院 総合医理工学研究科 医学系専攻, 4. 長野県小布施町 社会福祉協議会 地域福祉課, 5. 長野県小布施町 地域包括支援センター, 6. 長野県小布施町 健康福祉課, 7. JA長野厚生連長野松代総合病院 整形外科

S2-03 フレイルを有した術後合併症リスクが高い患者に対し術前からの介入で入院関連機能障害を予防できた症例

仲嶌 祐希¹, 安部 謙¹, 会田 慶太¹, 小島 椎¹, 山口 敦司²

1. 自治医科大学附属さいたま医療センター リハビリテーション部, 2. 自治医科大学附属さいたま医療センター 心臓血管外科

S2-04 介護保険サービスの活用により早期退院が実現した一症例 -回復期リハ病棟における在宅復帰支援-

島根 鳩也¹, 佐久間 克也¹, 近藤 国嗣¹

1. 東京湾岸リハビリテーション病院

15:00-15:55 一般演題（口述）1

座長： 大久保 正彦（永寿会恩方病院 歯科・歯科口腔外科）

小玉 鮎人（秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻作業療法学講座 講師）

O1-01 脳内アミロイド β 蓄積と認知機能の経時的変化における身体活動の効果修飾

牧野 圭太郎^{1, 2}, 加藤 隆司², 伊藤 健吾², 片山 倏², 山口 亨², 島田 裕之²

1. 北海道大学 環境健康科学研究教育センター, 2. 国立長寿医療研究センター

O1-02 地域在住高齢者の意味のある活動への参加状況と QoL との関連

下木原 俊¹, 横山 和樹², 井平 光³, 松崎(木原) 由里子⁴, 水本 淳⁵, 田代 英之³, 齊藤 秀和², 牧野 圭太郎⁶, 佐々木 健史³, 池田 望²

1. 長崎大学 生命医科学域(保健学系), 2. 札幌医科大学保健医療学部 作業療法学科, 3. 札幌医科大学保健医療学部 理学療法学科, 4. 日本医療大学保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻, 5. 北海道文教大学医療保健科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻, 6. 北海道大学 環境健康科学研究教育センター

O1-03 高齢腰椎疾患患者における疼痛由来運動恐怖感が座位行動に及ぼす影響

大川 皓平^{1, 2}, 山本 悠慎², 小島 巍², 田中 周², 三枝 洋喜², 南部 美帆², 松本 博樹², 鈴木 大夢³, 鈴木 雅博⁴, 山田 実⁵

1. 翠明会山王病院 リハビリテーション部, 2. 筑波大学大学院 人間総合科学学院, 3. 山王整形クリニック リハビリテーション科, 4. 翠明会山王病院 整形外科, 5. 筑波大学 人間系

O1-04 住民主体の介護予防体操グループ活動からの離脱に関する要因の検討

高橋 凜¹, 井平 光^{1, 2}, 木田 拓斗³, 赤沼 智美⁴, 横山 香理⁴, 松崎 由里子⁵, 牧迫 飛雄馬⁶, 吉田 裕人⁷

1. 札幌医科大学 大学院 保健医療学研究科, 2. 札幌医科大学 保健医療学部 理学療法学科, 3. 国立がん研究センター がん対策研究所 コホート研究部, 4. 美唄市役所 保健福祉部 地域包括ケア推進課, 5. 日本医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻, 6. 鹿児島大学 医学部 保健学科 理学療法学専攻, 7. 東北文化学園大学 大学院 健康社会システム研究科

O1-05 地域在住高齢者における日内の身体活動タイミングと抑うつ症状との縦断的関連

森川 将徳^{1, 2}, 原田 健次¹, 西島 千陽¹, 藤井 一弥¹, 垣田 大輔¹, 山城 由華吏³, 高柳 直人³, 須藤 元喜³, 島田 裕之¹

1. 長寿医療研究センター 予防老年学研究部, 2. 日本学術振興会 特別研究員, 3. 花王株式会社 東京研究所

O1-06 地域在住高齢者における生活活動範囲と主観的疲労の関連

青木 龍之介¹, 飯田 早希¹, 市塚 穂乃花¹, 清水 優吾¹, 花井 香純¹, 齊藤 正和^{1, 2}, 澤 龍一^{1, 2}

1. 順天堂大学保健医療学部理学療法学科, 2. 順天堂大学大学院保健医療学研究科

16:00-16:55 一般演題（口述）2

座長： 佐賀里 昭（信州大学医学部保健学科作業療法学専攻 准教授）

河野 裕治（藤田医科大学病院 リハビリテーション部 主任）

O2-01 くも膜下出血の事例に対する認知・行動チェックリストと神経心理ピラミッドの評価に基づく介入効果の検討

池内 貴美¹, 橋立 博幸², 櫛部 拓也¹

1. 済生会今治第二病院 リハビリテーション科, 2. 杏林大学 保健学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻

O2-02 急性期脳卒中患者において細胞外水分比の増加を考慮した位相角の低下は退院時の機能低下を予測する

甘粕 康太^{1, 2}, 井上 達朗^{2, 3}, 小林 壮太³, 斎藤 新貴^{4, 5}, 鎌田 夏未^{4, 6}, ブラウン章子^{4, 7}, 笠井 紅里⁴, 古澤 芽依⁴, 丸山 麻樹¹, 渡部 裕美子^{1, 8}

1.信楽園病院 リハビリテーション科, 2.新潟医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科医療福祉学専攻, 3.新潟医療福祉大学リハビリテーション学部理学療法学科, 4.新潟医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科保健学専攻理学療法学分野, 5.吉田病院栄養科, 6.日本大学医科大学 千葉北総病院リハビリテーション科, 7.北中城若松病院 栄養課, 8.信楽園病院 神経内科

O2-03 高齢回復期脳卒中者の日常生活動作改善に対する強度別身体活動時間の MIC の算出～歩行能力別の検討～

久保 宏紀^{1, 2}, 小林 壮太^{2, 3}, 木村 鷹介², 金居 睦之², 清水 夏生², 吉田 啓志^{2, 4}, 竹内 瞳雄^{2, 5}, 田中周^{2, 6}, 山本 晟矢^{2, 7}, 鈴木 佳樹^{2, 8}, 宮田 一弘⁹

1.甲南女子大学看護リハビリテーション学部, 2.J-SPURT, 3.新潟医療福祉大学リハビリテーション学部, 4.千里中央病院リハビリテーション科, 5.熊本機能病院総合リハビリテーション部, 6.東京工科大学医療保健学部, 7.虎の門病院分院リハビリテーション部, 8.JCHO 東京新宿メディカルセンターリハビリテーション室, 9.茨城県立医療大学保健医療学部

O2-04 認知症スティグマと認知症初期時における支援希求意図の関係

野口 泰司^{1, 2}, 尚爾華³, 林 尊弘⁴

1.浜松医科大学 医学部 健康社会医学講座, 2.国立長寿医療研究センター 研究所 老年社会科学研究部, 3.愛知東邦大学 人間健康学部, 4.愛知医療学院大学 リハビリテーション学部

O2-05 回復期脳卒中高齢患者におけるデジタル機器操作習得の可能性：Feasibility Study

伊藤 大将¹, 道願 正歩², 南部 美帆², 西山 貴裕², 坂崎 純太郎², 佐藤 孝嗣², 渡邊 あゆみ², 佐藤 亮太², 近藤 国嗣², 川上 途行¹

1.慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室, 2.東京湾岸リハビリテーション病院

O2-06 在宅リハビリテーションにおける近赤外分光法を用いた簡易型体組成計活用と多職種支援の短期効果：事例報告

梅本 雄太¹, 中谷 知生¹, 田口 潤智², 武藤 拓也³

1.宝塚リハビリテーション病院 療法部, 2.宝塚リハビリテーション病院 診療部, 3.株式会社マクニカ 新事業本部

ポスター会場

11:00-11:55 一般演題（ポスター）1

座長：國枝 洋太（東京都済生会中央病院 認知症疾患医療センター）

P1-01 通いの場に期待される最小効果—smallest worthwhile difference: SWD

中村 勇貴¹, 宮田 一弘², 上村 一貴³

1.大阪公立大学 医学部リハビリテーション学科, 2.茨城県立医療大学 保健医療学部 理学療法学科, 3.大阪公立大学 大学院リハビリテーション学研究科

P1-02 表情ベースの感情推定 AI「心 sensor」の評価特性検討：高齢者を対象としたパイロットスタディ

西居 妙夏¹, 朝比奈 瑠子², 大高 実月¹, 長谷川 明嶺³, 福島 理緒⁴, 丸山 祥¹, 吉原 翔太^{5, 6}, 高橋 香代子^{5, 7}, 天野 晓^{5, 7}

1. 医療法人社団 湘南慶育病院, 2. 医療法人弘園会 天竜すずかけ病院, 3. 株式会社 HAPROT, 4. 株式会社 Canvas, 5. 北里大学大学院 医療系研究科, 6. 国立健康危機管理研究機構 臨床研究センター疫学・予防研究部, 7. 北里大学 医療衛生学部 リハビリテーション学科

P1-03 地域在住高齢者のロバストとプレフレイルを識別する TUG の有用性

釜崎 大志郎¹, 八谷 瑞紀¹, 大川 裕行¹, 藤原 和彦¹, 保坂 公大^{2, 5}, 末永 拓也^{3, 5}, 藤村 諭史^{4, 5}, 吉瀬 陽⁶, 溝上 泰弘⁷, 鎌田 實⁸, 大田尾 浩¹

1. 西九州大学 リハビリテーション学部, 2. 久留米リハビリテーション病院 リハビリテーション科, 3. かとうクリニック内科・呼吸器内科 リハビリテーション室, 4. 横須賀病院 リハビリテーション科, 5. 西九州大学大学院 生活支援科学研究科, 6. 聖マリアヘルスケアセンター リハビリテーション室, 7. 株式会社ミズ, 8. 諏訪中央病院

P1-04 フレイルの種類と組み合わせによる社会的孤立の有症率の横断的検討

吉原 翔太¹, 山下 真司^{1, 2}, 山 健斗³, 山 由莉³, 尺田 咲季⁴, 鹿島 あゆ子⁵, 神谷 健太郎^{1, 6}

1. 北里大学大学院 医療系研究科, 2. 株式会社 ARCE 研究部, 3. 株式会社 ARCE 健康予防事業部, 4. 北里大学病院 リハビリテーション部, 5. 横浜市立市民病院 リハビリテーション部, 6. 北里大学 医療衛生学部

P1-05 異なる生体電気インピーダンス装置で算出される四肢除脂肪量は固定誤差を生じる

吉岡 亮伍¹, 小林 壮太¹, 井上 達朗^{1, 2}, 河井 琉飛¹, 高橋 南子¹, 大橋 美心¹, 笠井 紅里², 古澤 芽依², 西野 光貴^{2, 3}, 椿 淳裕^{1, 2}

1. 新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 理学療法学科, 2. 新潟医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 保健学専攻 理学療法学分野, 3. 小田原市立病院 リハビリテーション部

11:00-11:55 一般演題（ポスター）9

座長： 澤 龍一（順天堂大学 保健医療学部 理学療法学科 准教授）

P9-01 高齢がん患者におけるフレイルと尿酸値との関連に関する後ろ向き観察研究

大館 隼^{1, 2}, 大谷 直由^{3, 4}, 田村 由馬^{1, 4}, 前嶋 康浩^{2, 5}, 安 隆則^{2, 5}

1. 獨協医科大学日光医療センター リハビリテーション部, 2. 獨協医科大学 大学院医学研究科内科学系医工学講座, 3. 獨協医科大学日光医療センター 循環器病センター, 4. 獨協医科大学日光医療センター 臨床研究支援室, 5. 獨協医科大学日光医療センター 心臓・血管・腎臓内科

P9-02 地域在住高齢者におけるサルコペニア肥満と障害との関連：異なる診断基準による評価の比較

垣田 大輔¹, 原田 健次¹, 森川 将徳^{1, 2}, 西島 千陽¹, 藤井 一弥¹, 奥谷 卓音¹, 相馬 夏月¹, 島田 裕之¹

1. 国立長寿医療研究センター 予防老年学研究部, 2. 日本学術振興会 特別研究員

P9-03 通いの場に参加する地域在住高齢者のモバイル端末所持と身体機能・フレイルの関係性

原野 達也^{1, 2}, 重山 航輝^{3, 4}, 堤 千代⁵, 谷口 善昭⁶, 吉瀬 理代³, 谷口 雅彦⁷

1. 雪の聖母会 地域共生センター, 2. 久留米大学大学院 医学研究科 博士課程, 3. うきは市 保健課 介護・高齢者支援係, 4. 田丸中央病院 リハビリテーション室, 5. 聖マリア学院大学 看護学部, 6. 九州看護福祉大学 リハビリテーション学科, 7. 聖マリア病院 病院長

P9-04 足部疾患患者に対する i WALK free の使用 –筋厚・筋輝度の経時的変化–

小山田 千尋¹, 上内 哲男¹, 木村 鷹介²

1. JCHO 東京新宿メディカルセンター リハビリテーション室, 2. 東洋大学 生命科学部

13:00-13:55 一般演題（ポスター）2

座長： 與 祥子（介護老人保健施設せとうち リハビリテーション部）

P2-01 リスク認知を重視したフレイル予防教室における参加者のフレイルリスクとフレイル予防行動実施計画の適合度

三浦 佳代¹, 森田 泰裕¹, 飛田 和基¹, 甘利 貴志¹, 新井 智之¹

1. 埼玉医科大学 保健医療学部 理学療法学科

P2-02 骨粗鬆症外来受診する地域高齢者のサルコペニアに関連する身体評価 予測モデル構築に向けた予備的検討

緒方 練人^{1, 2}, 立石 貴樹^{1, 2}, 田宮 史章¹, 福留 広大^{1, 2}, 藤井 廉^{1, 2}, 細川 浩³

1. 武藏ヶ丘病院 リハビリテーション部, 2. 武藏ヶ丘病院 武藏ヶ丘臨床研究センター, 3. 山鹿温泉リハビリテーション病院 リハビリテーション科

P2-03 ふじみ野市における地域リハビリ職との連携「実践報告」

藤茂登 順子¹, 瀧村 友貴^{2, 3}, 山田 実⁴

1. ふじみ野市役所, 2. 埼玉県地域リハビリテーション・ケアサポートセンター南西部圏域担当, 3. 富家在宅リハビリテーションセンター, 4. 筑波大学人間系

P2-04 高齢者の自律性を評価する日本語版 IPA-Older persons の開発と表面的妥当性の検討

尾川 達也^{1, 2}, 石垣 智也³, 清水 夏生⁴, 宮田 一弘⁵, 野口 泰司⁶, 松本 大輔⁷, 上村 一貴⁸, 森岡 周¹
1. 畿央大学 ニューロリハビリテーション研究センター, 2. 西大和リハビリテーション病院 リハビリテーション部, 3. 畿央大学 健康科学部理学療法学科 兼 健康工学部健康イノベーション学科設置準備室, 4. 埼玉医科大学 保健医療学部 理学療法学科, 5. 茨城県立医療大学 保健医療学部 理学療法学科, 6. 浜松医科大学 健康社会医学講座, 7. 畿央大学 健康科学部 理学療法学科, 8. 大阪公立大学 医学部 リハビリテーション学科

13:00-13:55 一般演題（ポスター）10

座長： 室井 大佑（千葉県立保健医療大学 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 准教授）

P10-01 地域在住高齢者における体組成計による頸部周囲径評価と関連要因について

小野 綾子¹, 井平 光¹, 横山 和樹², 田代 英之¹, 水本 淳³, 松崎 由里子⁴, 齊藤 秀和², 下木原 俊⁵, 牧野 圭太郎⁶, 池田 望²

1. 札幌医科大学保健医療学部理学療法学科, 2. 札幌医科大学保健医療学部作業療法学科, 3. 北海道文教大学 保健医療科学部,
4. 日本医療大学 保健医療学部, 5. 長崎大学 生命医科学域, 6. 北海道大学 環境健康科学研究教育センター

P10-02 地域在住健常高齢者のフレイル発生予測に対する歩幅の有用性

山際 大樹¹, 片山 優¹, 山口 亨¹, 下田 隆大¹, 中島 千佳¹, 川上 歩花¹, 赤井田 将真¹, 島田 裕之¹
1. 国立長寿医療研究センター 予防老年学研究部

P10-03 地域在住者におけるスマートフォンの所有とフレイル保有率の関連性について

三木 隆史¹, 神谷 健太郎^{1, 2}, 山下 真司³, 内田 翔太⁴, 金森 由晃⁵, 窪田 杏奈⁵, 宮田 裕章⁵
1. 北里大学大学院 医療系研究科, 2. 北里大学 医療衛生学部, 3. 株式会社 ARCE, 4. 名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部, 5. 慶應義塾大学 医学部 医療政策・管理学教室

P10-04 サルコペニアを有する回復期高齢運動器患者における ADL 改善と体脂肪率を含む身体的・認知的因子との関連

今津 孝太¹, 石野 晶大², 加藤 涼平¹, 牧 芳昭¹
1. 鵜飼リハビリテーション病院, 2. 国立長寿医療研究センター

P10-05 地域在住高齢者におけるヘルスリテラシーとフレイル認知度の関連

福田 映美^{1, 2}, 東野 一成^{1, 3}, 永井 宏達⁴, 上田 哲也¹, 上村 一貴¹
1. 大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究科, 2. 医療法人尚和会宝塚リハビリテーション病院 療法部, 3. 学研都市病院 リハビリテーション科, 4. 兵庫医科大学 リハビリテーション学部 理学療法学科

15:00-15:55 一般演題（ポスター）3

座長： 金子 純一朗 （日本保健医療大学 保健医療学部 教授）

P3-01 地域在住高齢者におけるフレイルの悪化と改善の要因 -基本チェックリスト評価による5年間の変化-

牧迫 飛雄馬¹, 白土 大成¹, 三宅 悠斗¹, 田平 健人¹, 田平 隆行¹, 木山 良二¹, 竹中 俊宏², 窪塙 琢郎¹,
大石 充¹
1. 鹿児島大学, 2. 垂水中央病院

P3-02 頸椎症性脊髄症患者における術後せん妄に対する映画介入を実施した一症例

松本 博樹^{1, 2}, 山木 果歩¹, 堀内 晋馬¹, 矢崎 音好¹, 石坂 なつき¹, 迫田 陽那多¹
1. 川崎市立川崎病院 リハビリテーション科, 2. 筑波大学大学院 人間総合科学学術院

P3-03 高齢男性における生活領域別にみた生活満足度の年齢区分別差異：居住形態別による横断的検討

赤井田 将真¹, 片山 優¹, 山口 亨¹, 下田 隆大¹, 中島 千佳¹, 川上 歩花¹, 山際 大樹¹, 島田 裕之¹
1. 国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター 予防老年学研究部

P3-04 高齢者の生活行為と移動手段：運転状況と性別による違い

佐々木 努¹, 市川 政雄², 山田 恭平¹, 泊り 由希子³, 小林 大二⁴
1. 北海道千歳リハビリテーション大学, 2. 筑波大学, 3. 島松病院, 4. 公立千歳科学技術大学

P3-05 高齢者にやさしい病院の構成要素に関する文献レビュー：概念的枠組みの構築に向けて

中島 由登^{1, 2}, 李 相倫³, 宇田 和晃², 斎藤 民²

1.名古屋大学大学院 医学系研究科 総合保健学専攻 リハビリテーション療法学コース 作業療法科学分野, 2.長寿医療研究センター 老年社会科学研究部, 3.認知症介護研究・研修大府センター

15:00-15:55 一般演題（ポスター）11

座長： 板垣 篤典 （東京都立大学 健康福祉学部 理学療法学科 助教）

P11-01 地域包括ケア病棟における心不全患者の入院中の作業遂行能力の変化

小田 裕治^{1, 2}, 音部 雄平², 雲財 寛勝¹, 上田 知勇¹, 三浦 佑太¹, 木原 千優¹, 和田 定士¹, 中垣 滋央⁴, 金香 充範^{3, 4}

1.吹田徳洲会病院 リハビリテーション科, 2.大阪公立大学大学院リハビリテーション学研究科, 3.吹田徳洲会病院 心臓血管外科, 4.吹田徳洲会病院 地域医療科

P11-02 入院関連機能障害の発症リスクを呈した急性期高齢心不全患者一症例に対する身体活動量アプローチ

木村 祐紀¹, 小島 嶽¹, 枝 吉彦¹, 笹野 健¹, 根本 航¹, 港 理沙子¹, 西澤 健也², 野田 剛¹, 新城 吾朗¹
1.川崎市立川崎病院 リハビリテーション科, 2.川崎市立川崎病院 冠疾患集中治療室

P11-03 予後不良な高齢重症呼吸不全患者に対し理学療法を実施し ADL の改善、自宅退院に至った症例

磯部 翔吾¹, 大原 泰斗¹

1.船橋総合病院 リハビリテーション科

P11-04 回復期病棟において廃用症候群を呈した独居の患者に対して自宅支援を達成した1例

門脇 拓也¹

1.新宇都宮リハビリテーション病院

P11-05 急性期高齢心不全患者における多職種包括的な心臓リハビリテーション介入による再入院の回避効果

小島 嶽^{1, 2}, 枝 吉彦¹, 笹野 健¹, 木村 祐紀¹, 根本 航¹, 港 理沙子¹, 西澤 健也³, 野田 剛¹, 新城 吾朗¹

1.川崎市立川崎病院 リハビリテーション技術科, 2.筑波大学大学院 人間総合科学学術院, 3.川崎市立川崎病院 冠疾患集中治療室

16:00-16:55 一般演題（ポスター）4

座長： 立石 麻奈 （国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター 老化疫学研究部特任研究員）

P4-01 地域リハビリテーション職種における自主練習実施の実態

澤田 圭祐², 橋立 博幸²

1.医療法人笹本会 おおくに訪問リハビリテーション, 2.杏林大学 リハビリテーション学科 理学療法学専攻

P4-02 看護師が高齢患者の排泄ケア時に抱く喜びや達成感に関する研究—SCAT 法に基づく分析—

高崎 由季乃¹, 田中 晶子¹

1. 昭和医科大学 保健医療学部 看護学科

P4-03 健康な成人における歩行予備能の性差と特性

橋立 博幸¹, 島田 裕之², 跡見 友章¹, 小池 貴久³, 池田 悠稀⁴, 遠藤 祐太³, 佐藤 優斗¹, 長村 里彩¹,

大島 優¹, 須田 渚彩¹

1. 杏林大学保健学部リハビリテーション学科理学療法学専攻, 2. 国立長寿医療研究センター老年学・社会科学研究センター, 3.

杏林大学保健学部診療放射線技術学科, 4. 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 知的・発達障害研究部

P4-04 介護老人保健施設入所時の意欲と日常生活動作との関連性に基づく利用者特徴の検討

山本 祐介¹, 石原 明彦¹, 田中 誠也²

1. 医療法人善樹会 老人保健施設ウエルネス守山, 2. 国立長寿医療研究センター 先端医療開発推進センター

P4-05 地域在住高齢者の歩行速度は中高強度身体活動とどのように関連するか?

吉本 真輝¹, 永井 宏達¹, 大東 千夏¹, 福永 利奈¹, 村崎 つむぎ¹, 吉田 真菜¹, 松沢 良太¹, 玉城 香代子², 辻 翔太朗³, 楠 博^{2, 4}, 森 敬良², 新村 健²

1. 兵庫医科大学 リハビリテーション学部 理学療法学科, 2. 兵庫医科大学 医学部 総合診療内科学, 3. 兵庫医科大学 医学部 整形外科学, 4. 大阪歯科大学 歯学部, 5. 尼崎医療生活協同組合 本田診療所

16:00-16:55 一般演題（ポスター）12

座長： 石井 秀明 （国際医療福祉大学 成田保健医療学部 理学療法学科）

P12-01 地域在住高齢者における車の使用が身体活動量およびフレイルに与える影響

鈴木 幸史¹, 神谷 健太郎^{1, 2}, 三木 隆史¹, 内田 翔太^{1, 3}, 山下 真司^{1, 4}, 金森 由晃⁵, 窪田 杏奈⁵, 宮田 裕章⁵

1. 北里大学大学院 医療系研究科, 2. 北里大学 医療衛生学部, 3. 名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部, 4. 株式会社 ARCE 研究部, 5. 慶應義塾大学 医学部 医療政策・管理学教室

P12-02 自記式による主観的活動量評価指標（IPAQ・3Q）と活動量計による客観的活動量指標との関連性の検討

鹿島 あゆ子¹, 山下 真司^{2, 3}, 上原 大基⁴, 山 健斗⁴, 神谷 健太郎^{3, 5}

1. 横浜市立市民病院 リハビリテーション部, 2. 株式会社 ARCE 研究部, 3. 北里大学大学院 医療系研究科, 4. 株式会社 ARCE 健康予防事業部, 5. 北里大学 医療衛生学部

P12-03 回復期リハビリテーション病棟患者の身体活動量と休息活動リズムの関連～入院時と退院時の検討～

福井 聖人¹, 水野 隼兵¹, 吉原 稜¹, 大野 修平¹, 多田 拓生¹, 則竹 賢人¹, 藤井 啓介²

1. 東海記念病院 リハビリテーション部, 2. 鈴鹿医療科学大学大学院 医療科学専攻

P12-04 地域在住高齢者の津波避難能力向上を目指す「防災リハ教室」の取り組み： 高知県四万十町における活動報告

竹林 秀晃^{1, 2}, 浜田 奈穂美³, 敷地 雄一³, 近藤 寛^{1, 2}, 桂 雅俊^{1, 4}, 宮本 謙三^{1, 2}, 西原 愛⁵, 岡田 知佐⁵, 池本 祐貴^{6, 7}, 真明 将³

1.高知健康科学大学 健康科学部, 2.土佐リハビリテーションカレッジ 理学療法学科, 3.株式会社アクトワン, 4.土佐リハビリテーションカレッジ 作業療法学科, 5.四万十町地域包括支援センター, 6.いの町立国民健康保険仁淀病院 リハビリテーション科, 7.高知健康科学大学 客員研究員

P12-05 通いの場、及び間接支援、連携により活動量と歩行状態が改善した令和 6 年能登半島地震被災地域の高齢者二例

東馬場 要¹, 阿比留 友樹^{1, 2}

1.災害支援団体ロツツ, 2.リハ特化型訪問看護ステーションさんぽ武蔵小杉

プログラム 12月7日（日曜日）

第1会場

09:30-10:55 シンポジウム1 脳卒中の『しんか』

高齢脳卒中に対する理学療法は”しんか”したのか？

野添 匡史 兵庫医科大学 リハビリテーション学部 理学療法学科 准教授

OTの立場より

東 泰弘 奈良学園大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 准教授

STの立場より

近藤 郁江 江戸川病院 リハビリテーション科

座長：久保 宏紀（甲南女子大学 看護リハビリテーション学部 理学療法学科 助教）

木村 鷹介（東洋大学 生命科学部 生体医工学科 准教授）

11:00-11:25 寄付セミナー（株式会社ワコムの寄付により実施いたします）

デジタル書字データを活用したフレイル可視化の可能性

山田 実 筑波大学 人間系 教授

座長：鈴木 瑞恵（北海道医療大学 リハビリテーション科学部 言語聴覚療法学科 准教授）

12:30-13:55 シンポジウム2 活動の『しんか』

身体活動

石垣 智也 畿央大学 健康科学部 理学療法学科 准教授

社会活動（ICT）

下木原 俊 長崎大学 生命医科学域（保健学系） 助教

言語活動

萩野 未沙 独立行政法人地域医療機能推進機構 中京病院 リハビリテーションセンター

座長：金居 督之（金沢大学 融合研究域 准教授）

上村 一貴（大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究科 准教授）

14:30-15:55 市民公開講座 共催：森永乳業クリニコ株式会社

フレイル対策で彩るこれからの人生 一運動、食事、社会参加の大切さー

山田 実 筑波大学 人間系 教授

座長：小山 真吾（筑波技術大学 保健科学部 保健学科 助教）

第2会場

09:30-10:00 エキスパートセミナー5

「循環器疾患」に対する老年療法の『しんか』

神谷 健太郎 北里大学 医療衛生学部 教授

座長： 本田 寛人（四條畷学園大学 リハビリテーション学部 准教授）

10:00-10:30 エキスパートセミナー6

「慢性腎臓病」に対する老年療法の『しんか』

松沢 良太 兵庫医科大学 リハビリテーション学部 准教授

座長： 音部 雄平（大阪公立大学 大学院 リハビリテーション学研究科 講師）

10:30-11:00 特別企画3

老年療法学研究のセンスとテクニックの融合

紙谷 司 京都大学医学部附属病院 臨床研究教育・研修部 特定講師

座長： 清水 夏生（埼玉医科大学 保健医療学部理学療法学科 助教）

11:30-12:25 ランチョンセミナー 共催：インターリハ株式会社

低酸素トレーニングの生理学的基盤と臨床応用の可能性

齊藤 正和 順天堂大学保健医療学部理学療法学科

座長： 島田 裕之（国立長寿医療研究センター 研究所 老年学・社会科学研究センター センター長）

12:30-13:00 エキスパートセミナー7

「がん」に対する老年療法の『しんか』

井平 光 札幌医科大学 保健医療学部 理学療法学科 准教授

座長： 立松 典篤（名古屋大学大学院 医学系研究科 総合保健学専攻 助教）

13:00-13:30 エキスパートセミナー8

「摂食嚥下障害」に対する老年療法の『しんか』

福岡 達之 広島国際大学 総合リハビリテーション学部 教授

座長： 小川 真人（大阪保健医療大学 保健医療学部 准教授）

13:30-14:00 研究成果報告・研究プロジェクト紹介

深田 和浩 東京都立大学

14:00-14:55 寄付セミナー（第一生命保険株式会社の寄付により実施いたします）

健康寿命を目的とした高齢者に対する運動推奨の意義の再考：ICFSR コンセンサス論文を受けて

島田 裕之 国立長寿医療研究センター 研究所 老年学・社会科学研究センター センター長
座長：金子 文成（東京都立大学）

15:00-15:30 特別企画4

裁判例から学ぶ老年療法の実践現場の運営の心構え

松岡 太一郎 あさやけ法律事務所 代表弁護士
座長：横井 賀津志（大阪公立大学 リハビリテーション学研究科 教授）

15:30-16:00 エキスパートセミナー4

「高次脳機能障害」に対する老年療法の『しんか』（自動車運転）-自動車運転評価・支援の価値を問い合わせ直す-

外川 佑 山形県立保健医療大学 作業療法学科 教授
座長：尾川 達也（西大和リハビリテーション病院 リハビリテーション部 主任）

第3会場

9:30-10:25 一般演題（口述）3

座長：田村 俊太郎（太田医療技術専門学校 理学療法学科）
宮田 恵里（関西医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座）

O3-01 チームオレンジにおける拠点活動の有効性：札幌市のオレンジサポーターを対象とした質的研究

横山 和樹¹, 下木原 俊², 島田 清貴^{3,4}, 山 功恭^{3,5}, 宮嶋 涼⁶, 板垣 真知子⁷, 坂本 佳子⁷, 長田 理恵⁷, 池田 望¹

1.札幌医科大学 保健医療学部 作業療法学科, 2.長崎大学 生命医科学域（保健学系）, 3.札幌医科大学大学院 保健医療学研究科, 4.医療法人社団五風会 さっぽろ香雪病院, 5.株式会社N・フィールド 訪問看護ステーション デューン札幌, 6.江別市立病院, 7.札幌市保健福祉局 高齢保健福祉部 介護保険課

O3-02 回復期脳卒中患者における年齢層別の骨格筋機能の経時的变化

田中 周^{1,2}, 三枝 洋喜², 大川 皓平², 松本 博樹², 南部 美帆², 守屋 恵³, 山田 実⁴

1.東京工科大学 医療保健学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻, 2.筑波大学大学院 人間総合科学学術院 人間総合科学研究群, 3.武藏村山病院 リハビリテーション室, 4.筑波大学 人間系

O3-03 NCGG-FAT Composite score を用いた認知症発症リスクの検討

片山 僥¹, 山口 亨¹, 山際 大樹¹, 赤井田 将真¹, 下田 隆大¹, 中島 千佳¹, 川上 歩花¹, 島田 裕之¹

1.国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター 予防老年学研究部

O3-04 診断後支援における若年性認知症の人への就労役割支援の実施状況と併設医療機関との連携に関する分析

宮嶋 涼¹, 横山 和樹², 下木原 俊³, 山 功恭^{4, 8}, 島田 清貴^{5, 8}, 濵谷 阜^{6, 8}, 森元 隆文², 大川 浩子⁷, 池田 望²

1.江別市立病院 精神リハビリテーション室, 2.札幌医科大学 保健医療学部 作業療法学科, 3.長崎大学 生命医科学域, 4.株式会社Nフィールド 訪問看護ステーション デューン札幌, 5.医療法人社団五風会 さっぽろ香雪病院, 6.医療法人耕仁会 札幌太田病院, 7.北海道文教大学 医療保健科学部 リハビリテーション学科, 8.札幌医科大学大学院 保健医療学研究科

O3-05 「オンライン通いの場」アプリの年代別継続率の比較および機能利用パターンと継続率との関連

中島 千佳¹, 片山 優¹, 山口 亨¹, 下田 隆大¹, 川上 歩花¹, 山際 大樹¹, 赤井田 将真¹, 島田 裕之¹

1.国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター 予防老年学研究部

O3-06 スマートフォンを用いた認知機能検査と血液バイオマーカーとの関連

山口 亨¹, 片山 優¹, 山際 大樹¹, 赤井田 将真¹, 下田 隆大¹, 中島 千佳¹, 川上 歩花¹, 櫻井 孝², 中村 昭範³, 荒井 秀典⁴, 島田 裕之¹

1.国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター 予防老年学研究部, 2.国立長寿医療研究センター 認知症先進医療開発センター 予防科学研究所, 3.国立長寿医療研究センター もの忘れ外来部, 4.国立長寿医療研究センター

10:30-11:25 一般演題（口述）4

座長：三栖 翔吾（甲南女子大学 看護リハビリテーション学部 講師）

落合 勇人（新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 言語聴覚学科 助教）

O4-01 腰椎変性疾患患者におけるヘルスリテラシーとフレイルの関連

東野 一成^{1, 2}, 福田 映美^{1, 3}, 藤本 弘誠², 八色 凜汰朗², 瀧口 述弘^{2, 4}, 江木 翔平², 尾立 征一⁵, 森實一晃⁵, 上村 一貴¹

1.大阪公立大学 大学院リハビリテーション学研究科, 2.学研都市病院 リハビリテーション科, 3.宝塚リハビリテーション病院 療法部, 4.畿央大学 健康科学部 理学療法学科, 5.学研都市病院 整形外科

O4-02 末期変形性膝関節症女性患者におけるオステオサルコペニアの有病率と臨床的特徴

齋藤 嘉輝¹, 田中 創^{1, 2}, 三浦 淳¹, 梶原 康宏¹, 富永 冬樹^{2, 3}, 吉本 隆昌³

1.福岡整形外科病院 リハビリテーション科, 2.福岡整形外科病院 臨床研究センター, 3.福岡整形外科病院 整形外科

O4-03 健常高齢者における高所での立位保持時に生じる不安感が姿勢制御に与える影響

田代 英之¹, 広崎 蒼大², 佐藤 優衣³, 井平 光¹, 土岐 めぐみ⁴, 小塙 直樹⁵

1.札幌医科大学 保健医療学部 理学療法学科, 2.東京都立大学 人間健康科学研究科 ヘルスプロモーションサイエンス学域, 3.札幌医科大学附属病院 リハビリテーション部, 4.札幌医科大学 医学部 リハビリテーション医学講座, 5.千歳リハビリテーション大学 健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻

O4-04 痛み関連因子の重積が睡眠と就労に与える影響

岡田 直之¹, 肩 祥平¹, 木城 拓也^{1, 2}, 今井 亮太³

1.株式会社理学ボディ, 2.RIGAKUBODY PTE. LTD, 3.大阪河崎リハビリテーション大学大学院 リハビリテーション研究科 運動機能領域

O4-05 多疾患併存を有する地域在住高齢者に対する保険外リハビリ利用における身体機能・生活空間の経過：症例報告

斎藤 大成¹, 堀 翔太¹

1. (株)豊通オールライフヘルスケア事業部 AViC THE PHYSIO STUDIO

O4-06 糖尿病性足部感染による下腿切断後の断端感染に対し高位切断の回避と ADL 改善に至った一症例

杉山 春菜¹, 間瀬 直子², 矢野 晶子³, 大久保 舞桜¹, 小林 美幸¹, 竹中 真生¹, 村上 香恵¹, 山内 拓磨¹, 金沢 明秀⁴

1. 武藏野徳洲会病院 リハビリテーション科, 2. 武藏野徳洲会病院 看護部, 3. 方南町駅前皮ふ科形成外科, 4. 武藏野徳洲会病院 整形外科

12:30-13:25 一般演題（口述）5

座長： 富田 義人（東京保健医療専門職大学 リハビリテーション学部 理学療法学科 准教授）

那須 譲徳（農協共済中伊豆リハビリテーションセンター 福祉部 障害者支援施設 さわらび主任）

O5-01 要介護高齢におけるうつ傾向の有無と身体活動特性との関連

内山 圭太^{1, 9}, 木村 鷹介^{2, 9}, 清水 夏生^{3, 9}, 柳澤 雄大^{4, 9}, 木下 篤^{5, 9}, 藤原 和志^{6, 9}, 木田 亮輔^{7, 9}, 伊原 直^{8, 9}

1. 金沢赤十字病院リハビリテーション科, 2. 東洋大学, 3. 埼玉医科大学, 4. 初台リハビリテーション病院 生活期支援部, 5. さくら会病院, 6. ロツツ株式会社 リハ特化型訪問看護ステーションさんぽ 武蔵小杉, 7. リハビリ推進センター株式会社板橋リハビリ訪問看護ステーション, 8. 福岡リハビリテーション病院リハビリテーション部, 9. Health Promotion Physical therapy for Stroke survivor (HEPPS)

O5-02 高齢者における ADL 能力と機能訓練プログラムとの関連性-11,665 名を対象にした観察研究-

林 悠太¹, 波戸 真之介², 島田 裕之³

1. 株式会社ツクイ コーポレート推進本部, 2. 株式会社ツクイ 営業推進本部, 3. 国立長寿医療研究センター

O5-03 機械学習による要支援・要介護高齢者の施設内独歩自立分類モデルと外的妥当性の検証

池本 祐貴^{1, 2}, 武内 紳³, 木下 裕矢¹, 志賀 舞⁴, 宮野 伊知郎⁵, 滝本 幸治⁶, 竹林 秀晃⁷

1. いの町立国民健康保険仁淀病院 リハビリテーション科, 2. 高知健康科学大学 客員研究員, 3. 社会医療法人黎明会 北出病院 リハビリテーション科, 4. いの町立国民健康保険仁淀病院 外科, 5. 高知大学 医学部公衆衛生学, 6. 奈良学園大学 保健医療学部, 7. 高知健康科学大学 健康科学部

O5-04 足元への視線固視は高齢者の不安定な方向転換動作を増加させる

坂崎 純太郎^{1, 2}, 室井 大佑¹, 樋口 貴広²

1. 千葉県立保健医療大学 リハビリテーション学科 理学療法学専攻, 2. 東京都立大学大学院 人間健康科学研究科 ヘルスプロモーションサイエンス学域

O5-05 海馬体積と身体活動量の関連は筋肉量により修飾される

原田 健次¹, 森川 将徳^{1, 2}, 藤井 一弥¹, 西島 千陽¹, 垣田 大輔¹, 相馬 夏月¹, 奥谷 卓音¹, 島田 裕之¹

1. 国立長寿医療研究センター, 2. 日本学術振興会

O5-06 認知機能レベル別にみた中高強度身体活動の精神的 QOLへの影響

土山 太一¹, 齊田 和哉¹, 中西 萌¹, 清水 空¹, 岩本 龍典¹, 寺澤 光太郎¹, 金子 史子¹, 岡村 仁¹

1. 広島大学大学院 医系科学研究科

13:30-14:25 一般演題（口述）6

座長： 太田 智裕（世田谷記念病院 総務課）

小谷 優平（川崎医療福祉大学リハビリテーション学部 助教）

O6-01 社会的フレイルが心拍関連指標に及ぼす間接的影響：平均歩数の媒介効果に着目して

久米 裕¹, 前川 弘樹^{2,3}

1. 秋田大学 医学系研究科 保健学専攻 作業療法学講座, 2. 秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻博士後期課程, 3. 東北福祉大学 健康科学部 リハビリテーション学科

O6-02 地域在住高齢者における聴覚機能低下と骨格筋健康指標の関連：軽度認知障害を媒介とした縦断的分析

白土 大成¹, 三宅 悠斗^{1,2}, 田平 健人¹, 倉津 謙大², 木山 良二¹, 川田 将之¹, 牧迫 飛雄馬¹

1. 鹿児島大学医学部保健学科理学療法学専攻, 2. 鹿児島大学大学院保健学研究科

O6-03 演題取り下げ

O6-04 積雪地域に住む高齢者における冬季の環境条件下での活動量の変化に関するフレイルの要因

小林 将幸^{1,2}, 横山 和樹³, 下木原 俊^{3,4}, 田代 英之⁵, 齊藤 秀和³, 松崎 由里子⁶, 水本 淳⁷, 牧野 圭太郎⁸, 池田 望³

1. 札幌医科大学大学院 保健医療学研究科, 2. 札幌山の上病院, 3. 札幌医科大学 保健医療学部 作業療法学科, 4. 長崎大学 生命医科学域（保健学系）, 5. 札幌医科大学 保健医療学部 理学療法学科, 6. 日本医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科, 7. 北海道文教大学 医療保健科学部 リハビリテーション学科, 8. 北海道大学 環境健康科学研究教育センター

O6-05 地域在住高齢者における食への健康意識・食摂取多様性と身体的フレイルの関連

奥谷 卓音¹, 原田 健次¹, 森川 将徳¹, 西島 千陽¹, 藤井 一弥¹, 垣田 大輔¹, 相馬 夏月¹, 島田 裕之¹

1. 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター 予防老年学研究部

O6-06 地域在住高齢者における行動・心理症状の主観的評価と配偶者評価に生じるギャップの特徴

見須 裕香^{1,2}, 中窪 翔³, 野坂 進之介¹, 島田 裕之¹

1. 国立長寿医療研究センター研究所 老年学・社会科学研究センター予防老年学研究部, 2. 神戸学院大学総合リハビリテーション学部作業療法学科, 3. 国立長寿医療研究センター研究所 老年学・社会科学研究センター デジタルヘルス研究チーム

14:30-15:25 一般演題（口述）7

座長： 岡部 拓大（東京家政大学 健康科学部 リハビリテーション学科 准教授）

兒玉 成博（川崎医療福祉大学 リハビリテーション学部 言語聴覚療法学科リハビリテーション学部 言語聴覚療法学科准教授）

O7-01 地域在住高齢者における知的活動への参加と孤独感発生の関連：縦断的検討

崎本 史生¹, 土井 剛彦¹, 中窪 翔², 松田 総一郎¹, 島田 裕之¹

1. 国立長寿医療研究センター 研究所 老年学・社会科学研究センター 予防老年学研究部, 2. 国立長寿医療研究センター 研究所 老年学・社会科学研究センター デジタルヘルス研究チーム

O7-02 地域在住高齢者における社会的孤立および口腔機能低下が要介護発生リスクに与える影響

川上 歩花¹, 片山 修¹, 山口 亨¹, 下田 隆大¹, 中島 千佳¹, 山際 大樹¹, 赤井田 将真¹, 島田 裕之¹

1. 国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター 予防老年学研究部

O7-03 精神療養病棟の高齢患者における精神症状の季節性

梯 智貴^{1, 3, 4}, 園田 悠馬^{3, 4}

1. 南淡路病院, 2. 平成医療福祉グループ総合研究所, 3. 神戸大学大学院保健学研究科リハビリテーション科学領域, 4. 神戸大学ウェルビーイング先端研究センター

O7-04 地域在住高齢者におけるうつ症状と禁煙年数および禁煙年齢との関連：横断研究

阿部 夏音¹, 中窪 翔², 土井 剛彦¹, 野坂 進之介¹, 崎本 史生¹, 松田 総一郎¹, 島田 裕之¹

1. 国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター 予防老年学研究部, 2. 国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター デジタルヘルス研究チーム

O7-05 地域在住高齢者における社会参加の類型化と孤独感の関連

下田 隆大¹, 片山 優¹, 山口 亨¹, 中島 千佳¹, 川上 歩花¹, 山際 大樹¹, 赤井田 将真¹, 島田 裕之¹

1. 国立長寿医療研究センター 予防老年学研究部

O7-06 高齢期における就労活動の開始が身体・精神的健康状態に及ぼす影響～逆確率重み付け法による検証～

藤井 一弥¹, 原田 健次¹, 森川 将徳^{1, 2}, 西島 千陽¹, 垣田 大輔¹, 奥谷 卓音¹, 相馬 夏月¹, 島田 裕之¹

1. 国立長寿医療研究センター 予防老年学研究部, 2. 日本学術振興会 特別研究員

ポスター会場

10:30-11:25 一般演題（ポスター）5

座長： 桑江 豊 （城西国際大学 福祉総合学部 理学療法学科 准教授）

P5-01 高齢者に対する外乱負荷トレーニング時のタイミングの予測可否が姿勢反応の変化に与える影響

片桐 佑理¹, 田代 英之¹, 井平 光¹

1. 札幌医科大学保健医療学部理学療法学科

P5-02 大腿骨転子部骨折後術後合併症を呈した高齢認知症患者への課題指向型トレーニングとADLの関係：症例報告

鈴木 萌香¹, 渡邊 善行¹, 謙訪 太一¹, 阿瀬 寛幸¹, 高倉 朋和¹, 藤原 俊之²

1. 順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター, 2. 順天堂大学大学院医学研究科リハビリテーション医学講座

P5-03 地域在住高齢者における夜間排尿の頻度と転倒歴との関連

伊香 孝則¹, 白土 大成², 田平 健人², 三宅 悠斗^{1, 2}, 愛下 由香里¹, 倉津 謙大¹, 與 祥子¹, 西 洋樹¹, 福森 愛美¹, 牧迫 飛雄馬²

1.鹿児島大学 大学院保健学研究科, 2.鹿児島大学 医学部保健学科 理学療法学専攻

P5-04 転倒群は非転倒群に比して足趾把握力が有意に低下する—地域高齢者における横断調査報告—

新田 智裕¹, 山下 侑哉¹, 江口 卓弥¹, 金子 隼士¹, 岡田 莉恵^{1, 3}, 岩川 一茂²

1.Studio&Cafe BALENA, 2.東京都立大学大学院 人間健康科学研究科

P5-05 デイサービス利用者の起立性低血圧と転倒との関連性の検討：Pilot study

舛水 光¹, 石岡 野瑛¹, 香田 葵¹, 松本 慧¹, 小山 珠², 小室 颯², 塩田 航平², 澤 龍一^{1, 2}, 齊藤 正和^{1, 2}

1.順天堂大学 保健医療学部 理学療法学科, 2.順天堂大学大学院 保健医療研究科

10:30-11:25 一般演題（ポスター）13

座長： 栄元 一記（兵庫医科大学病院 リハビリテーション技術部 主任）

P13-01 両上腕骨近位端骨折を呈し著しく日常生活活動に制限が生じた高齢患者への支援

有馬 裕二¹, 久保 美和子¹, 平野 誠一郎¹, 石井 俊介¹, 増渕 和宏¹

1.国立病院機構 西埼玉中央病院

P13-02 多職種連携により医療関連機器褥瘡の改善が得られた不全腰髄損傷を有する高齢下腿切断の1例

小川 秀幸^{1, 2}, 金田莉緒¹, 熊田 寛史³, 大塚 三和子⁴

1.埼玉県総合リハビリテーションセンター 理学療法化, 2.筑波大学大学院人間総合科学学術院 パブリックヘルス学位プログラム, 3.埼玉県総合リハビリテーションセンター 相談部 義肢装具士, 4.埼玉県総合リハビリテーションセンター 皮膚・排泄ケア認定看護師

P13-03 高齢者における歩行中の進路認識特性を評価するバーチャルリアリティシステムの開発

脇 遼太朗¹, 佐藤 和之^{1, 2}, 井上 純輝^{1, 3}, 山田 実⁴, 樋口 貴広¹

1.東京都立大学 人間健康科学研究科, 2.Friedrich Schiller University Jena, 3.ソニー株式会社技術開発研究所, 4.筑波大学 人間系

P13-04 転倒状況の分析に基づく環境調整が転倒予防に有効であったパーキンソン病患者に関する報告

木田 亮輔^{1, 2}, 大沼 剛¹, 森山 隆¹, 石黒 葵¹, 阿部 勉¹

1.リハビリ推進センター株式会社 板橋リハビリ訪問看護ステーション, 2.HEalth Promotion Physical therapy for Stroke survivor (HEPPS)

P13-05 慢性疼痛と社会参加欠如型の孤立の併存は2年後の要介護発生リスクを増加させる

松田 総一郎¹, 土井 剛彦¹, 中窪 翔², 崎本 史生¹, 野坂 進之介¹, 阿部 夏音¹, 島田 裕之¹

1.国立長寿医療研究センター 研究所 老年学・社会科学研究センター 予防老年学研究部, 2.国立長寿医療研究センター 研究所 老年学・社会科学研究センター デジタルヘルス研究チーム

12:30-13:25 一般演題（ポスター）6

座長： 北垣 和史 （四條畷学園大学 リハビリテーション学部 講師）

P6-01 地域在住高齢者における発声能力と身体活動量との関連

河村 康平^{1, 2}, 森沢 知之^{1, 3}, 國枝 洋太⁴, 千葉 うらら², 菅野 大樹^{1, 2}, 高橋 哲也¹, 高倉 朋和^{2, 5}, 藤原 俊之^{1, 5}

1.順天堂大学大学院保健医療学研究科, 2.順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センターリハビリテーション科, 3.神戸リハビリテーション病院リハビリテーション部, 4.東北大学病院高齢者睡眠医療・社会安全整備寄附研究部門, 5.順天堂大学大学院医学研究科リハビリテーション医学講座

P6-02 健常若年者における超音波画像診断装置による摂食嚥下関連筋評価の検者内および検者間信頼性

石野 晶大¹, 永坂 元臣¹, 川村 皓生^{1, 2}, 増田 悠斗¹, 神谷 正樹¹, 岩瀬 拓¹, 前田 圭介^{3, 4}, 加賀谷 斎¹

1.国立研究開発法人国立長寿医療研究センター リハビリテーション科部, 2.愛知医科大学大学院 医学研究科, 3.愛知医科大学 栄養治療支援センター, 4.国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 老年内科

P6-03 急性期病院栄養サポートチームにおける低栄養・低体重患者に対し患者・家族を巻き込み自宅退院に至った症例

濱嶋 敏紀¹, 中原 啓貴¹, 横山 航太¹, 菅 唯士¹, 伊藤 敬市¹, 深見 貞晴²

1.武蔵野徳洲会病院 リハビリテーション科, 2.武蔵野徳洲会病院 循環器内科

P6-04 歌唱を用いた口腔体操講座を受講した高齢者における社会的フレイルと嚥下機能低下との関連

佐川 さちの^{1, 2}, 佐川 まさの³, 佐川 幸代⁴, 鶴飼 智恵子⁵, 横溝 肇³, 岡山 幸代³, 岩本 隼輔³, 浅香 晋一³, 西口 遼平³, 矢野 尚⁶, 葦葉 清香⁶, 塩澤 俊一³

1.株式会社サンミュージックプロダクション, 2.中央区立介護老人保健施設リハポート明石, 3.東京女子医科大学付属足立医療センター 外科, 4.一般社団法人公認心理師試験研修センター, 5.東京女子医科大学附属足立医療センター臨床栄養部, 6.東京女子医科大学附属足立医療センター歯科口腔外科

P6-05 地域高齢者における主観的な発話明瞭度とサルコペニアの関係

阿部 直紀¹, 石上 慧¹, 門 愛¹, 今岡 真和¹, 村上 達典¹, 中村 美砂¹

1.大阪河崎リハビリテーション大学 リハビリテーション学部

12:30-13:25 一般演題（ポスター）14

座長： 村田 裕康 （杏林大学 保健学部）

P14-01 地域在住高齢者における孤独感の有無による孤食とうつ症状の関連の違い

野坂 進之介¹, 中窪 翔², 土井 剛彦¹, 阿部 夏音¹, 崎本 史生¹, 松田 総一郎¹, 島田 裕之¹

1.国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター 予防老年学研究部, 2.国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター デジタルヘルス研究チーム

P14-02 反応時間に着目した有効視野課題による MCI 早期検出の試み

田丸 佳希¹, 稲田 慎², 井手口 範男³, 鍵野 将平⁴, 勝原 勇希⁴, 東 泰弘⁵

1. 京都橘大学 健康科学部 作業療法学科, 2. 森ノ宮医療大学 医療技術学部 臨床工学科, 3. 森ノ宮医療大学 医療技術学部 鍼灸学科, 4. 森ノ宮医療大学 総合リハビリテーション学部 作業療法学科, 5. 奈良学園大学 保健医療学部 リハビリテーション学科

P14-03 認知症患者と家族介護者の関係の質に関する文献レビュー

萱野 幸治^{1, 2}, 藤生 英行³

1. 筑波大学大学院カウンセリング学位プログラム, 2. あきしま相互病院, 3. 筑波大学人間系

P14-04 共生社会実現のためのチームオレンジにおける認知症の人の主観的体験：質的研究を用いた検討

島田 清貴^{1, 2}, 横山 和樹³, 下木原 俊⁴, 山 功恭^{1, 5}, 宮嶋 涼⁶, 板垣 真知子⁷, 坂本 佳子⁷, 長田 理恵⁷, 池田 望³

1. 札幌医科大学大学院 保健医療学研究科, 2. 医療法人社団五風会 さっぽろ香雪病院, 3. 札幌医科大学 保健医療学部 作業療法学科, 4. 長崎大学 生命医科学域（保健学系）, 5. 株式会社 N・フィールド 訪問看護ステーション デューン札幌, 6. 江別市立病院, 7. 札幌市保健福祉局 高齢保健福祉部 介護保険課

P14-05 認知症高齢者における運動療法前のピアノ演奏課題が理学療法の導入を円滑化した一例

賀佐見 京香¹, 渡邊 善行¹, 長場 絵里¹, 阿瀬 寛幸¹, 高倉 朋和^{1, 2}, 藤原 俊之²

1. 順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター, 2. 順天堂大学大学院医学研究科リハビリテーション医学

13:30-14:25 一般演題（ポスター）7

座長： 吉松 竜貴（東都大学 幕張ヒューマンケア学部 理学療法学科 准教授）

P7-01 リハビリスタッフの多職種連携についての現状と課題～多職種連携をスムーズに行う為の NP の役割～

安部 優子¹, 小嶋 秀治¹

1. 水海道さくら病院

P7-02 集中治療室から一般病棟に及ぶ多職種リハビリテーションで良好な転帰を得た超高齢な人工呼吸器患者の一症例

前谷 純亮¹, 千田 香¹, 木村 智徳¹, 星野 翔太², 橋田 知明², 町田 利生³

1. 東千葉メディカルセンター リハビリテーション部, 2. 東千葉メディカルセンター 救急科・集中治療部, 3. 東千葉メディカルセンター 脳神経外科

P7-03 急性期高齢入院患者の退院支援に向けた多職種連携の取り組み

久住 治彦¹, 西郡 亨²

1. 津田沼中央総合病院 リハビリテーション科, 2. 上尾中央医療専門学校 理学療法学科

P7-04 回復期病棟入院中の認知機能が低下した高齢者に対する生活リハビリ導入に向けた検討

臼見 史恵², 石井 利枝²

1.日本赤十字看護大学 看護学部, 2.特定非営利法人 船橋福祉相談協議会

P7-05 外来リハビリテーションから集団テレリハビリテーションへの移行が機能維持に寄与したパーキンソン病の2例

三枝 洋喜^{1,3}, 大草 翔平^{1,3}, 篠原 佑太^{1,3}, 小西 海香³, 川上 途行^{1,3}, 辻 哲也^{1,3}, 中原 仁^{2,3}, 関 守信^{2,3}

1.慶應義塾大学 医学部 リハビリテーション医学教室, 2.慶應義塾大学 医学部 神経内科, 3.慶應義塾大学病院 パーキンソン病センター

13:30-14:25 一般演題（ポスター）15

座長： 平瀬 達哉（神奈川県立保健福祉大学 准教授）

P15-01 回復期の脳卒中患者に向けた音楽療法の役割～作業療法士の視点をめぐって～

雄鹿 賢哉¹, 高崎 友香², 山田 亨^{3,4}, 三ツ井 詠子^{5,6}, 山崎 克江⁶, 山崎 郁子⁷

1.植草学園大学, 2.茨城県立医療大学 保健医療学部 作業療法学科, 3.産業技術総合研究所 人間情報インターラクション研究部門, 4.筑波大学 人間系, 5.医療法人社団白峰会 介護老人保健施設しろかね, 6.茨城県立医療大学付属病院ボランティアスタッフ, 7.植草学園大学 名誉教授

P15-02 脳卒中者に対する高強度エクササイズの有効性と課題-ナラティブレビュー-

深田 和浩^{1,2}, 佐々木 駿^{1,3}, 棚町 兼也^{1,2}, 金子 文成^{1,2}

1.東京都立大学 人間健康科学研究科 理学療法科学域, 2.慶應義塾大学 医学部 リハビリテーション医学講座, 3.株式会社ARCE 健康予防事業部 UP Life

P15-03 上肢機能訓練と実動作練習により趣味活動の再開に寄与した高齢脳卒中患者の一例

南部 美帆¹, 熊谷 将志¹, 坂田 祥子¹, 伊藤 真梨¹

1.東京湾岸リハビリテーション病院

P15-04 痙縮を伴う膝関節伸展制限を呈した慢性硬膜下血腫症例に対して運動療法と神経筋電気刺激を併用した介入報告

小名木 良太¹

1.彩の国東大宮メディカルセンター

P15-05 退院後の生活を見据えた装具選定により屋外歩行自立に至った右被殼出血の一症例

今井 玲華¹, 鈴木 佳樹¹, 木村 鷹介², 上内 哲男¹

1.JCHO 東京新宿メディカルセンターリハビリテーション室, 2.東洋大学 生命科学部生体医工学科

14:30-15:25 一般演題（ポスター）8

座長： 加藤 剛平（東京保健医療専門職大学 リハビリテーション学部 理学療法学科 准教授）

P8-01 急性期病院における介護予防事業の実践

横山 航太¹, 濱嶋 敏紀¹, 菅 唯士¹, 関口 況奈¹, 横山 尚美¹, 小山 真吾²

1. 医療法人徳洲会 武蔵野徳洲会病院 リハビリテーション科, 2. 筑波技術大学 保健科学部 保健学科 理学療法学専攻

P8-02 通いの場における地域在住高齢者の身体活動に対するグループ特性が与える影響

山本 泰忠^{1, 2}, 土屋 浩一¹, 岡本 裕子³, 近藤 裕子⁴, 中谷 知生¹, 田口 潤智⁵, 高取 克彦²

1. 宝塚リハビリテーション病院 療法部, 2. 畿央大学大学院 健康科学研究科, 3. 宝塚市役所 高齢福祉課, 4. 宝塚市社会福祉協議会 企画総務課, 5. 宝塚リハビリテーション病院 診療部

P8-03 地域在住中高齢者における立ち上がり動作時の床反力指標の性別による加齢変化パターンの違い

三宅 悠斗^{1, 2}, 白土 大成¹, 田平 健人¹, 倉津 謙大², 牧迫 飛雄馬¹

1. 鹿児島大学 医学部 保健学科, 2. 鹿児島大学大学院 保健学研究科

P8-04 ICTと運動プログラムの併用が高齢者の生活に与える影響

川端 敦史¹, 小林 法一², 小林 隆司³, 石橋 仁美⁴, 川端 美月⁵, 石橋 裕²

1. 認知症介護研究・研修東京センター 研究部, 2. 東京都立大学 健康福祉学部 作業療法学科, 3. 兵庫医科大学 リハビリテーション学部 作業療法学科, 4. 東京工科大学 医療保健学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻, 5. 東京都立大学 健康福祉学部 作業療法学科 客員研究員

P8-05 通所リハビリ領域におけるライフスタイル再構築プログラムを活用した実践報告

福田 裕¹, 宇都宮 裕人², 斎藤 駿太³, 藤本 一博⁴

1. 介護老人保健施設 岩槻ライトケア リハビリテーション科, 2. イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院, 3. 済生会小樽病院リハビリテーション室, 4. 茅ヶ崎中央病院

14:30-15:25 一般演題（ポスター）16

座長： 武田 賢和（新潟西蒲メディカルセンター病院 リハビリテーション科）

P16-01 認知症高齢者における居住形態別 ADL の特徴：生活行為工程分析表 (PADA-D) による検討

赤崎 義彦^{1, 2}, 下木原 俊³, 日高 雄磨^{2, 4}, 田平 隆行⁵

1. 垂水市立医療センター 垂水中央病院, 2. 鹿児島大学大学院保健学研究科 博士後期課程, 3. 長崎大学 生命医科学域（保健学系）, 4. 医療法人三州会 大勝病院, 5. 鹿児島大学 医学部 保健学科 作業療法学専攻

P16-02 令和6年度版科学的介護情報システムのデータを用いた 軽度要介護者と中重度要介護者の重度化要因の比較

波戸 真之介¹, 林 悠太¹, 島田 裕之²

1. 株式会社ツクイ, 2. 国立長寿医療研究センター

P16-03 老年療法分野における Data Flow Diagram を活用した研究の品質マネジメントの試み

田中 誠也², 島田 裕之², 赤井田 将真², 下田 隆大², 西島 千陽², 藤井 一弥², 森川 将徳², 山際 大樹², 山口 亨², 鈴木 啓介¹

1. 国立長寿医療研究センター 先端医療開発推進センター, 2. 国立長寿医療研究センター 予防老年学研究部

P16-04 基本チェックリストを用いたフレイル重症度評価における関連の強い質問項目の検討

秋山 慶文¹, 遠藤 祐紀¹, 高橋 悅子², 小林 史生³, 高下 香織⁴, 平田 雅文^{1, 5}

1.社会医療法人豊生会 東苗穂病院 リハビリテーション部, 2.社会医療法人豊生会 札幌市東区第2層生活支援コーディネーター, 3.社会福祉法人伏古福祉会 札幌市東区介護予防センター伏古本町, 4.社会福祉法人三草会 札幌市東区第2地域包括支援センター, 5.社会医療法人豊生会 東苗穂病院 医局